



## 平成27年度 救急救助合同総合シミュレーション訓練 が行われました

11月4日(水)9時～13時30分にかけて南部消防署訓練場にて救急救助合同総合シミュレーション訓練を実施しました。

南部署、中部署の救急隊10隊、救助隊6隊、総勢62名による訓練は、外部評価者の医師2名、IRT隊員(国際救助隊員)3名を招き行われた初の合同訓練で、医師の目や救助隊員の目それぞれから、要救助者の救出、搬送について評価を受けるなど大変有意義な訓練となりました。

今回の訓練を参考に、素早く確実な住民の救出救助を目指し、日々努力してまいります。



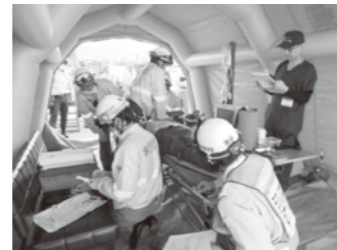
要救助者を救出する救助隊員



要救助者を協力し搬送する救助・救急両隊員



心肺蘇生中の救急隊員(屋内事案)



心肺蘇生中の救急隊員(交通事案)

問い合わせ

柏屋南部消防組合消防本部 ☎935-5111

問い合わせ

環境課 ☎934-2226

1988年に国連主導で地球温暖化防止のための研究機関として「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)が設立され、その調査結果や改善のための提案は各国で採用されています。1995年に「これまでの100年間で海面は10~20cm上昇しているが、21世紀末には平均気温は2℃、海面は50cm上昇することが予想される」という発表がありました。発表当時は21世紀を直前にして「約100年後には…」という予想でしたがこの警告は有効とは云えなかつたよつで、本発表の数値は今世紀どころか2050年には達してしまつてしまつた現実です。

2015年は太平洋の赤道直下付近の海水温が上昇し、観測史上2番目の規模の「エルニーニョ現象」が発生しました。海水温が高いと、雲が発生する量と場所が変わり、思いもよらない地域での集中豪雨の要因にもなります。

室外で何か燃やすと、煙は空高く舞い上がっていきますが、その時、二酸化炭素も発生し、私たちの目には見えませんが、宇宙の彼方へ飛んでいくことなく地表を漂い、地球温暖化の原因物質となります。その濃度は、平均して約200年前は280ppmであつたものが、2010年頃には370ppmに上昇しています。

自然界では二酸化炭素を植物が浄化してくれていますが、各国の大規模開発で植物の数が減り続け、砂漠化されていく面積が増え続けているのが現状です。その対策として、緑化も大切ですが、まずは、二酸化炭素の排出量を減らすことが急務とされています。しかしながら、関係各国からは二酸化炭素の削減目標が出されているものの、一向に減る気配はありません。

真夏に雪が降つたり、真冬に気温が30℃を超えたりすると、「異常気象だ!」と大騒ぎになると思いますが、自然に異常はありません!自然を変えてしまつた原因は、今に生きる私たちが取り除いておかないと、50年後や100年後に異常気象が続発する事態になることが予想されます。その時代に生きる人々に申し訳ないと思うのですが……。

文責 竹吉栄隆



宇美町立こども療育センター

すくすく だより

お子さんの成長で気になること、  
「すくすく」へ気軽にご相談ください。

### 個別療育(発達相談・療育訓練)について

「こども療育センターすくすく」では、発達にまずきのあるこどもたちを対象に「個別療育」と「集団療育」を行っています。「個別療育(発達相談・療育訓練)」では、**医師、臨床発達心理士、言語聴覚士、作業療法士など、多様な専門スタッフが協力して、一人ひとりのお子さんに合った発達相談・療育訓練の支援を行っています。**

今回は、「個別療育(発達相談・療育訓練)」に関わる臨床発達心理士(CP)・言語聴覚士(ST)の支援内容をご紹介します。保護者の方に感想やこどもへの思いについて書いていただきました。感想を寄せてくださった保護者のみなさまありがとうございます。

#### 臨床発達心理士の支援内容

お子さんの様子をお伺いし、必要に応じて発達検査を行います。こどもの特性や苦手さを把握し保護者の方に検査の結果と今後のアドバイスをいたします。保護者からの希望があれば、保育園、幼稚園、小学校とも連携して関わり方のアドバイスをしています。

##### 臨床発達心理士からひとこと

「すくすく」では、「ことばが遅い」「動きが激しく、落ち着きがない」など行動や発達に関わる様々なお悩みやご心配について相談を受けています。

お子さんの健やかな成長を促し、楽しんで意欲を持って子育てができるよう、こどもへの関わり方について保護者の皆さまと一緒に考えながら取り組んでいます。

##### 保護者からひとこと

「すくすく」に相談することで、息子二人とも集団生活で楽しく活動できるようになりました!

長男は運動が苦手で、そのために消極的な性格でした。運動面について作業療法の先生に生活のしづらさを解消できるよう指導して頂き、出来ることが増えることで幼稚園生活が楽しく送れました。こだわりの強い息子たちですが、その点については、臨床発達心理士の先生との何気ない会話から、息子たちの特徴を知ることができ、私自身も相談のたびに新しい発見がたくさんあります。(たんぼぼママ)

#### 言語聴覚士の支援内容

保護者の方に自宅でのよう会話しているのかお聞きします。お子様の口の中を見せていただき、舌の動かし方や息の仕方などを見せられます。構音検査、絵カードを使つての発音訓練、教材を用いての会話の練習、保護者の方に会話方法のアドバイスをしています。

##### 言語聴覚士からひとこと

ことばの力は、身体やこころなどの発達に伴って育っていきます。

その基礎を作るのが、「規則正しい生活」や「十分な運動」「バランスのとれた食事」などです。まずは、御家庭でお子さんと同じ向き合い、たくさん遊び、「楽しい!」を共有してください。そして、お子さんの伝えたい気持ちを大切にしてください。「個別療育」では、ことばに関する事で困っているお子さんに対して、「認知」「言語」「コミュニケーション能力」を伸ばすお手伝いをさせていただきます。

##### 保護者からひとこと

3歳になって少しことばが遅いかなと思つていましたが、健診で「すくすく」を勧められ通い始めました!

自分の子育てに自信がなく、すぐに不安になります。すくすくに通うことで、その不安が一つずつ取り除けているのではないかと思つています。集中力が続かない子ですが、工夫して時間を組んで頂いているので嫌がる事もなく楽しみに通っています。(つんママ)



言語聴覚士による、構音指導の様子(舌の動かし方を具体的に示しながら)



言語聴覚士と共に、カード取りゲームをしながらの発音指導の様子

対象 0歳から小学校入学前までのこども  
相談日 臨床発達心理士: 月10回前後  
言語聴覚士: 月5回  
時間 10時~17時(相談は16時30分まで)

受付方法 電話にて予約  
費用 無料

気になることがあれば、ぜひお気軽に「すくすく」までご相談ください。

問い合わせ 宇美町立こども療育センター「すくすく」宇美町貴船2丁目40-2 ☎934-3933